

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式													
E111D001	教職入門ゼミ(Introductory Seminar in Teaching Profession)																			
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員														
必修	2	1	教育学部			氏名 教職入門ゼミ担当メンター E-mail 内線														
授業の概要	附属4校園参加体験実習に基づく省察科目として、子ども理解、子どもとのコミュニケーションの取り方の基本事項を学習する。また、それらを通して、教職への意欲を高め、今後の講義や教育実習への積極的参加の姿勢を養う。																			
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)										1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	小学校における教育の様子を観察し、大学での学習の意義と自らの課題を発見する。																			
目標2	隣接校種の幼稚園・中学校・特別支援学校での教育の様子を理解し、小学校教育との連携の観点から各校園の教育を捉える。																			
目標3	教職志望者としての基本的マナーや倫理観・基本意識を形成する。																			
目標4	観察の視点をもつことの意味を理解し、実際の観察を通じて、子ども理解の基本を学習する。																			
目標5	実際の観察に基づいて議論を行い、他者との意見交換を通じて自らの課題を見出す。																			
目標6	体験活動を通じて、幼児・児童・生徒とのコミュニケーションを図るための基本事項を学ぶ。																			
目標7																				
目標8																				
目標9																				
目標10																				
授業の内容																				
1	全体オリエンテーション																			
2	事前討議 : 幼児における課題を各個人が設定し、グループで討議を行う。																			
3	参加体験 : 幼児における課題を教育現場で確認する。																			
4	事後討議 : 各個人で体験を省察し、グループで討議を行う。																			
5	事前討議 : 児童における課題を各個人が設定し、グループで討議を行う。																			
6	参加体験 : 児童における課題を教育現場で確認する。																			
7	事後討議 : 各個人で体験を省察し、グループで討議を行う。																			
8	事前討議 : 生徒における課題を各個人で設定し、グループで討議を行う。																			
9	参加体験 : 生徒における課題を教育現場で確認する。																			
10	事後討議 : 各個人で体験を省察し、グループで討議を行う。																			
11	事前討議 : 特別な支援を要する児童・生徒における課題を各個人が設定し、グループで討議を行う。																			
12	参加体験 : 特別な支援を要する児童・生徒における課題を教育現場で確認する。																			
13	事後討議 : 各個人で体験を省察し、グループで討議を行う。																			
14	各班においてこれまでの省察を振り返り、グループ討議の成果を発表する。																			
15	各班での討議から見いだされた課題を持ちより、各校園の教職員を交えた場で意見を交換し、学びを深める。																			
ラック ニ ン グ	A:知識の定着・確認	幼児・児童・生徒における課題を教育現場で確認する。										工 夫 そ の 他 の								
	B:意見の表現・交換	幼児・児童・生徒における課題を各個人で設定し、グループで討議を行う。																		
	C:応用志向																			
	D:知識の活用・創造																			
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修	教育現場への観察にあたり、基本的マナーや事前準備の確認を入念に行う(15h)																		
	事後 学修	教育現場で観察・確認した課題を省察し、レポートにまとめる(30h)																		
教科書	特になし。適宜、資料を配布する。																			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 『小学校学習指導要領』 『中学校学習指導要領』 『特別支援学校学習指導要領』 																			
成績 評 価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10								
	複数教員による多面的・総合的評価	70%																		
	最終レポート	30%																		
	<ul style="list-style-type: none"> ・複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、各回のレポート(省察)の内容、課題に取り組む姿勢、討論への参加など)(70%) ・最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)(30%) 																			
注意事項																				
備考																				
リンク	URL																			

教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無	
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	附属4校園担当者各1名：附属幼稚園教諭・附属小学校教諭・附属中学校教諭・附属特別支援学校教諭
実務経験を いかした教 育内容	附属校園における学生への指導助言を行う